

# データヘルス計画

## 第2期計画書

---

最終更新日：平成 30 年 09 月 05 日

群馬県農業団体健康保険組合

## STEP 1 - 1 基本情報

組合コード	42129
組合名称	群馬県農業団体健康保険組合
形態	総合
業種	複合サービス業

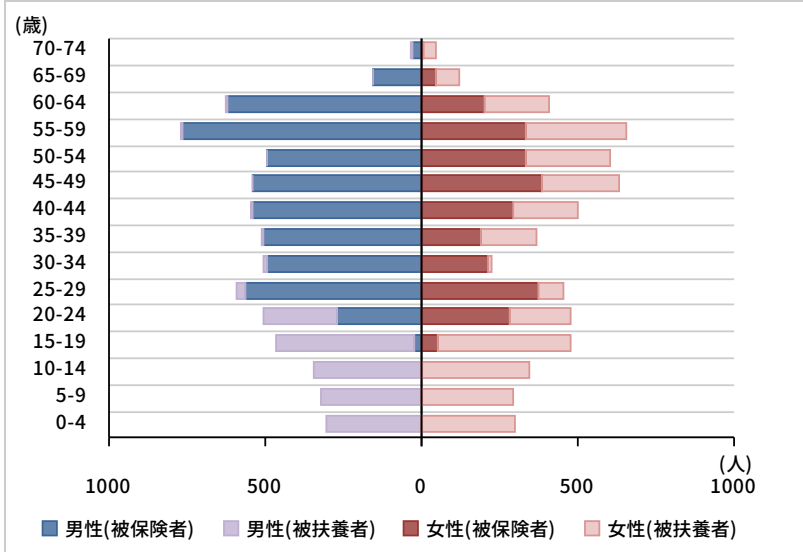
	平成30年度見込み	平成31年度見込み	平成32年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	7,650名 男性64.8% (平均年齢44.9歳) * 女性35.2% (平均年齢42.0歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	-名	-名
加入者数	12,645名	-名	-名
適用事業所数	44カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠 点 数	44カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	111.28‰	-‰	-‰

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	1	-	-	-	-
	保健師等	1	0	-	-	-	-
事業主	産業医	0	30	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数： 特定健康診査対象者数)	全体	5,185 / 6,100 = 85.0 %	
	被保険者	4,497 / 4,734 = 95.0 %	
	被扶養者	688 / 1,366 = 50.4 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数： 特定保健指導対象者数)	全体	267 / 890 = 30.0 %	
	被保険者	- / - = - %	
	被扶養者	- / - = - %	

		平成30年度見込み		平成31年度見込み		平成32年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	11,763	1,538	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	5,249	686	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	9,500	1,242	-	-	-	-
	疾病予防費	91,344	11,940	-	-	-	-
	体育奨励費	5,450	712	-	-	-	-
	直営保養所費	300	39	-	-	-	-
	その他	100	13	-	-	-	-
	小計 …a	123,706	16,171	0	-	0	-
経常支出合計 …b	3,582,204	468,262	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	3.45		-	-	-	-	

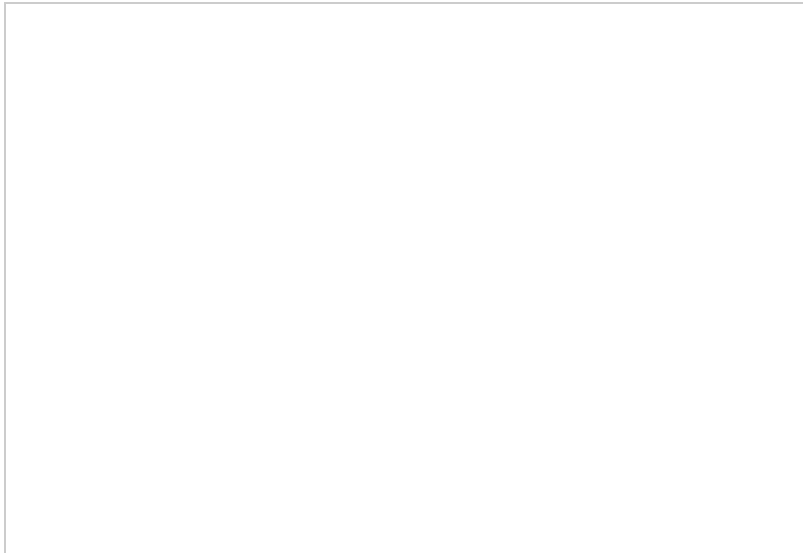
平成30年度見込み



平成31年度見込み



平成32年度見込み



## 男性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	21人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	273人	25～29	561人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	495人	35～39	507人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	539人	45～49	541人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	492人	55～59	763人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	620人	65～69	156人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	29人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	54人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	281人	25～29	373人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	210人	35～39	187人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	291人	45～49	384人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	331人	55～59	334人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	200人	65～69	45人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	4人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	306人	5～9	319人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	346人	15～19	443人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	236人	25～29	26人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	11人	35～39	6人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	4人	45～49	1人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2人	55～59	5人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	8人	65～69	2人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	4人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

平成30年度見込み				平成31年度見込み				平成32年度見込み			
0～4	297人	5～9	293人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	346人	15～19	425人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	197人	25～29	83人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	11人	35～39	178人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	204人	45～49	247人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	268人	55～59	322人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	205人	65～69	72人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	40人			70～74	-人			70～74	-人		

## 基本情報から見える特徴

中規模な総合型の健保組合である。  
 男性被保険者が約64.8%を占めている。  
 年齢は男性で44.9歳、女性は42.0歳である。  
 扶養率は0.65と比較的低い方である。

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

健康意識の定着および生活習慣の改善支援に重点をおいた健康管理事業を推進し、「メタボ予防」「重症化予防」「禁煙」を柱とする取り組みを実施している。体力づくりでは、手軽にできるウォーキングを習慣化できるよう、運動習慣の日常化に重点をおいている。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

保健指導宣伝	諸会議・研修会の開催
保健指導宣伝	健康づくり支援対策

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	共同保健宣伝
--------	--------

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関紙の発行
保健指導宣伝	健康優良家族表彰
保健指導宣伝	健康チャレンジ表彰
保健指導宣伝	医療費通知の配付
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品の利用促進
疾病予防	生活習慣病予防健診
疾病予防	短期人間ドック
疾病予防	栄養（食事）・健康相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
体育奨励	軟式野球大会
体育奨励	フットサル大会
体育奨励	健康ウォーキング
体育奨励	ウォーキングキャンペーン

#### 事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
保健指導 宣伝	1	諸会議・研修会の開催	【目的】健康管理事業の促進と円滑な事務処理の推進 【概要】推進委員による保健事業の検討や事業所健康管理者の事務手続きの迅速化などを推進	被保険者	全て	男女	18～74	全員	295	健康管理推進委員会 年2回(7月・1月) 健康管理研修会 年1回(3月、33事業所、38名出席)	保健事業への理解、協力が高まる。 各事業所との連携が深まる。	健保事業への一層の理解促進	4
	4,5	健康づくり支援対策	【目的】データ分析による加入者の健康づくりと疾病予防、重症化予防 【概要】レセプト・健診情報等のデータ分析にも基づく効率的、効果的な保健事業を実施するため計画を策定し実践する。	被保険者	全て	男女	18～74	基準該当者	111	重症化予防対策として、事業主と共同で受診勧奨通知を212名に送付した。	健康管理医の意見書を添えて事業主との連名で通知。 コラボヘルスに関する覚書を全事業主と締結した。	受診勧奨しても受診しない。	4
加入者への意識づけ													
保健指導 宣伝	5	共同保健宣伝	【目的】健保連と共同の広報活動【概要】健康強調月間、情報誌配布など	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	960	共同ポスターの配布 500部 情報誌購入配布 700部/月	全国情勢の周知徹底 全国統一運動への参加など。	類似の情報が溢れている。	4
個別の事業													
特定健康 診査事業	3	特定健診(被保険者)	【目的】特定健診の受診率向上、加入者の健康維持 【概要】事業所が行う定期健診と合わせ共同実施	被保険者	全て	男女	40～74	全員	9,489	対象者数 2,537名 受診者数 2,303名 受診率 90.8%	事業所との連携による実施	対象者の健診に対する理解不足	4
	3	特定健診(被扶養者)	【目的】特定健診の受診率の向上、加入者の健康維持 【概要】利便性の良い巡回型の健診を導入し、受診機会を向上	被扶養者	全て	男女	40～74	全員	0	対象者数 1,414名 受診者数 640名 受診率 45.3%	受診券の発行による健診機関の選択	丁寧な情報提供 受診意識の希薄	1
特定保健 指導事業	1,4	特定保健指導	【目的】特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善 【概要】事業所を巡回し、事業所の協力を得て健保主体で実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	770	〔動機付け支援〕 対象者数 57名 初回面接実施者数 36名 〔積極的支援〕 対象者数 128名 初回面接実施者数 77名	事業所と連携して出席を奨励 指導対象者の裾野拡大 29年度は偶数年齢を対象に特定保健指導を実施。 また、39歳の予備群に対し動機づけとして保健指導を実施した。	対象者の保健指導に対する意識の低さ リピーターへの支援対策 指導者の確保	2
保健指導 宣伝	5	機関紙の発行	【目的】情報発信・健康意識の醸成 【概要】健保運営、制度改正、疾病予防、健康情報等掲載	被保険者	全て	男女	18～74	全員	2,476	発行回数 年5回 (№269～273) 発行 発行部数 7,700部/回	身近でタイムリーな情報提供 制度改正内容の要約、保健事業への周知徹底 イベント参加率の向上促進	魅力ある紙面づくり。 自宅に持ち帰らない。	5
	8	健康優良家族表彰	【目的】健康家族の表彰 【概要】1か年間、療養の給付を受けなかった家族に記念品を贈る。	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	68	健康優良家族表彰 9家族	家族で健康管理に取り組む。	個人は対象としない。	-
	5	健康チャレンジ表彰	【目的】生活習慣の改善支援 【概要】6か月間、減量や禁煙の取り組みを記録し、目標達成者に健康強調月間(10月)に合わせて記念品を贈る。	被保険者	全て	男女	18～74	基準該当者	143	参加者数 61名 目標達成者 7名 達成者率 11.5% 報告者数 23名 報告率 37.7%	減量・禁煙の機会を提供し、保健指導による改善支援 生活習慣改善意識の高揚 チャレンジ参加者35名に対し保健指導を行った。	目標達成に至るまでの支援の充実	1
	4	医療費通知の配付	【目的】医療費支出の適正化 【概要】年1回、1月～12月分を3月に発送	被保険者	全て	男女	18～74	基準該当者	87	発送回数 1回 発送部数 10,755枚	医療機関への受診状況の確認と医療費コスト意識の向上	費用対効果が明確でない。	-

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費 (千円)	振り返り			注2) 評価	
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期		成功・推進要因		課題及び阻害要因
	8	ジェネリック医薬品の利用促進	【目的】ジェネリック医薬品の普及 【概要】一定額以上の自己負担軽減が見込める該当者に差額通知を発送	被保険者	全て	男女	18～74	基準該当者	112	送付回数 年4回 合計通知者 467名	広報誌での推奨と個人への通知で周知を図る。	医薬費における効果が見えない。ジェネリック医薬品使用に抵抗がある人への対応	-	
疾病予防	1,3,4	生活習慣病予防健診	【目的】生活習慣病の早期発見と受診率の向上 【概要】事業所の定期健診を兼ねた基礎健診	被保険者 被扶養者	全て	男女	18～74	全員	38,926	受診者数 5,539名 受診率 被保険者 97.5% 被扶養者 44.0% 県内19会場、231名に結果指導を実施	外部の検査機関に委託し、利便性の良い巡回型の健診を行なっている。勤務時間中の受診を可能にしている。定期健診と兼ねているので、事業所も協力的である。	被扶養者（特に配偶者）の受診率が低い。	4	
	3	短期人間ドック	【目的】生活習慣病の早期発見及び受診率の向上 【概要】指定医療機関と契約し、希望者の誕生日を原則として年間計画に基づき受診している。また、受診者には費用の一部を補助している。	被保険者 被扶養者	全て	男女	40～74	全員	38,338	受診者数 2,403名	指定医療機関（8病院）と契約し、健保で本人の受診希望を確認した上で年間計画に基づき受診している。	リピーターが多く、新規受診者が少ない。	4	
	1,4	栄養（食事）・健康相談	【目的】健診結果に基づく生活習慣の改善指導及び健康づくり 【概要】健診数値などから改善指導が必要な該当者に、食事や運動など多面的な指導を行なう。	被保険者	全て	男女	18～74	基準該当者	686	相談回数 31回 受診者数 136名 受診率 67.7%	保健師、管理栄養士が各事業所を回って指導している。事業所と連携して勤務時間中でも相談活動ができるよう配慮している。	リピーター多く、指導内容を理解し改善意思を示すものの、実行できないケースが多い。自覚症状がないため医療機関へ受診を勧奨しても行かない人がいる。	3	
	-	インフルエンザ予防接種補助	【目的】インフルエンザの重症化予防及び拡大阻止 【概要】冬季のインフルエンザの流行に備え、予防注射をした場合に補助する。	被保険者	全て	男女	18～74	全員	2,527	補助申請者 1,279名 補助額 2,000円 （1回接種のみ）	毎年10月～翌年1月までの期間で、各自が接種し、事業所を経由して補助申請を行う。事業所では随時被保険者からの申請書（領収書添付）をまとめて健保に申請している。接種希望者が増える傾向にある。	補助は被保険者だけで被扶養者は除かれている。	-	
	8	軟式野球大会	【目的】健康管理と事業所間交流【概要】各事業所のチーム対抗戦で毎年8月・9月にかけて実施	被保険者	全て	男女	18～60	全員	699	19事業所から24チームが参加し、選手416名が出場した。	第61回を迎え、伝統ある大会大会は4日間、平日の勤務時間中に実施される。	大会会場の確保が難しくなってきている。	4	
-	フットサル大会	【目的】事業所間交流と健康管理 【概要】各事業所のチーム対抗戦で12月に開催する	被保険者	全て	男女	18～74	全員	402	19事業所から26チームが参加し、337名が出場した。	この事業は、29年度新規事業で当初ウオーキング大会を3回開催する予定であったが、ウオーキング大会に参加しない年齢層の被保険者にも積極的に運動してもらうため、秋に予定していたウオーキング大会をフットサル大会に置き換え実施した。なお、事業の変更については、健康管理事業推進委員会で検討し、組合会で承認を得た。	参加チーム数が増えた特の開催日数と会場の確保	4		
5	健康ウオーキング	【目的】ウオーキングの楽しさと体力づくり 【概要】県内にあるウオーキングコースを選定し、年間3会場で開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	4～74	全員	1,322	参加者数 2会場で延べ622名 （28事業所）	家族参加型のウオーキングイベントで2会場で開催している。季節ごと（春・冬）の開催のため参加者も多い。ウオーキング大会への参加者に記念品を贈呈している。	参加者の固定化 会場の選定に苦慮（交通アクセス、駐車場、歩行の安全性など）	4		
5	ウオーキングキャンペーン	【目的】健康維持のため歩く習慣、歩く楽しさを身につける。 【概要】1年を前期と後期に分け、それぞれ3か月間、毎日所定のカードに歩数を記入し、基準以上歩いた人に記念品を贈る。	被保険者	全て	男女	18～74	全員	878	ウオーキングキャンペーン 〔5月～7月〕 参加者数 478名 達成者数 280名 〔9月～11月〕 参加者数 432名 達成者数 305名	毎日平均8,000歩以上を目標歩数とし、目標達成者に記念品を贈る。毎回参加し、習慣になった人も多く、健康管理意識も高まった。	参加者が固定化している。新規参加者の掘り起しが必要 記録表の工夫	4		

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他





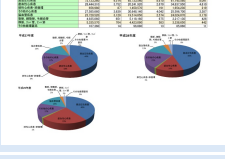
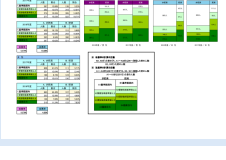
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								



# STEP1-3 基本分析

## 登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健診・特定保健指導の実施状況	特定健診分析	-
イ		健診レベル判定分析	特定健診分析	-
ウ		喫煙状況	その他	-
エ		生活習慣病 医療費	医療費・患者数分析	-
オ		循環器系疾患 医療費【被保険者】	医療費・患者数分析	-
カ		生活習慣病・健診レベル判定分布の経年変化	健康リスク分析	-

<p>キ</p>		<p>血圧検査値の経年変化</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>-</p>
<p>ク</p>		<p>糖代謝検査値の経年変化</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>-</p>

## 特定健診・特定保健指導の実施状況

本人・家族合計			平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
全体的事項	特定健康診査対象者数	(人)	6,383	6,337	6,189	6,088	5,993
	特定健康診査の対象となる被扶養者の数	(人)	1,721	1,669	1,662	1,556	1,490
	特定健康診査受診者数	(人)	4,517	4,761	4,698	4,573	4,716
	健診受診率	(%)	70.8	75.1	75.9	75.1	78.7
	評価対象者数	(人)	4,564	4,762	47	4,578	4,716
内臓脂肪症候群に関する事項	内臓脂肪症候群該当者数	(人)	705	723	710	754	787
	内臓脂肪症候群該当者割合	(%)	15.4	15.2	15.1	16.5	16.7
	内臓脂肪症候群予備群者数	(人)	601	610	586	605	574
	内臓脂肪症候群予備群者割合	(%)	13.2	12.8	12.5	13.2	12.2
特定保健指導に関する事項	特定保健指導(積極的支援)の対象者数	(人)	613	589	562	571	560
	特定保健指導(積極的支援)の対象者の割合	(%)	13.4	12.4	12.0	12.5	11.9
	特定保健指導(積極的支援)の利用者数	(人)	77	162	134	158	110
	特定保健指導(積極的支援)の利用者の割合	(%)	12.6	27.5	23.8	27.7	19.6
	特定保健指導(動機付け支援)の対象者数	(人)	350	361	332	349	338
	特定保健指導(動機付け支援)の対象者の割合	(%)	7.7	7.6	7.1	7.1	7.2
	特定保健指導(動機付け支援)の利用者数	(人)	57	97	62	86	57
	特定保健指導(動機付け支援)の利用者の割合	(%)	16.3	26.9	18.7	24.6	16.9

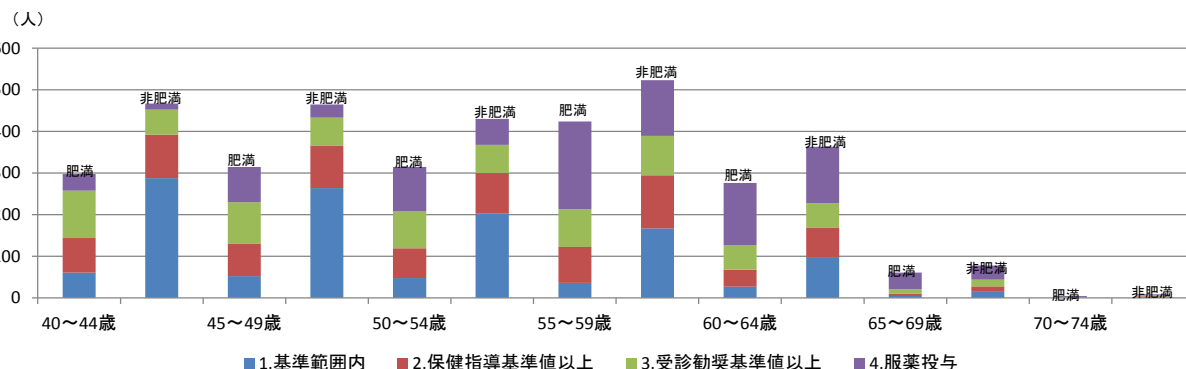
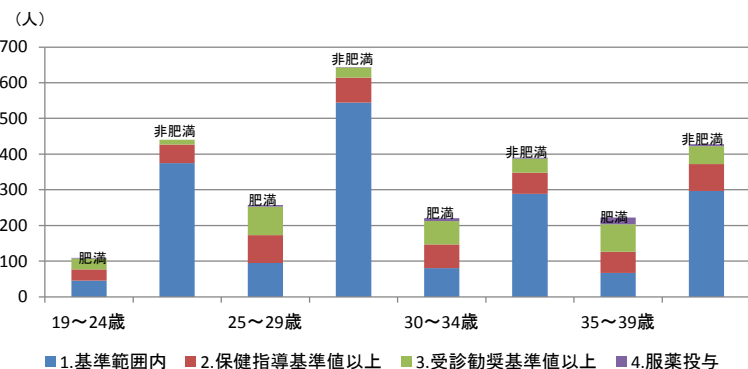
特定健診の受診率は年々上がってきている。また、内臓脂肪症候群該当者の占める割合は増加傾向で、予備群は変動はあるものの減少傾向にある。

特定保健指導の対象者は減少傾向にあり利用者数が年々増えてきているが、リピーターが多くマンネリ化が懸念される。

# 特定健診レベル判定分析

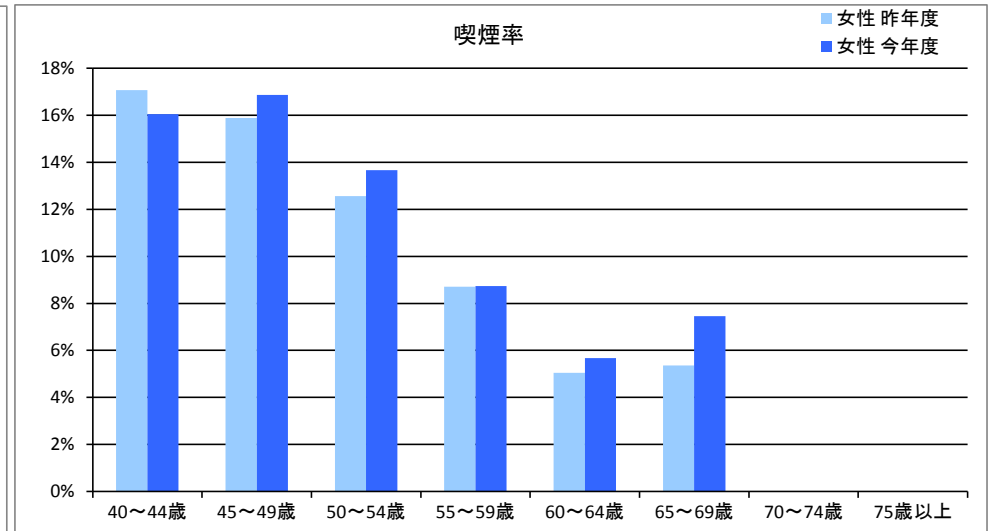
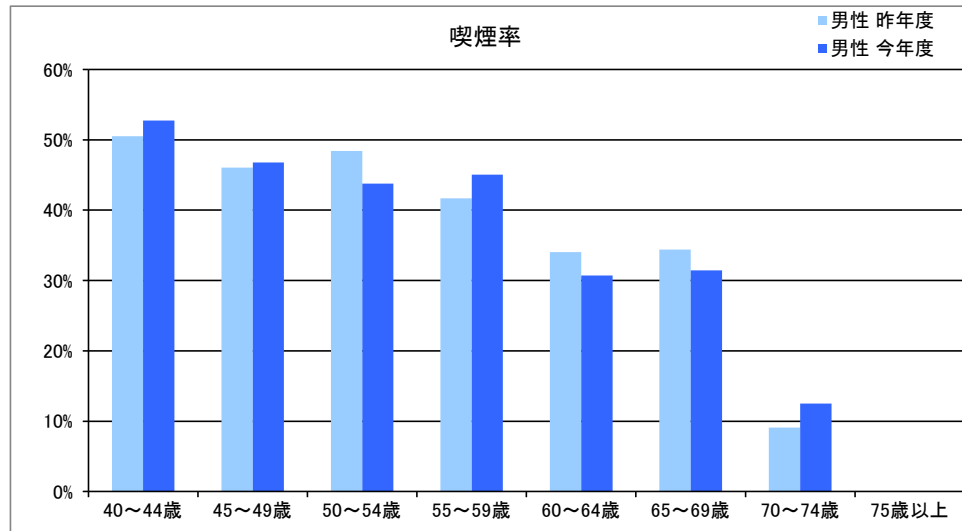
		強制計							
		合計		19~24歳		25~29歳		30~34歳	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
肥満	1.基準範囲内	287	10.59%	45	8.20%	95	10.54%	80	13.11%
	2.保健指導基準値以上	236	8.71%	32	5.83%	78	8.66%	67	10.98%
	3.受診勧奨基準値以上	252	9.30%	30	5.46%	80	8.88%	65	10.66%
	4.服薬投与	33	1.22%	2	0.36%	4	0.44%	8	1.31%
非肥満	1.基準範囲内	1505	55.54%	375	68.31%	544	60.38%	289	47.38%
	2.保健指導基準値以上	256	9.45%	52	9.47%	70	7.77%	59	9.67%
	3.受診勧奨基準値以上	131	4.83%	13	2.37%	29	3.22%	39	6.39%
	4.服薬投与	10	0.37%	0	0.00%	1	0.11%	3	0.49%
		35~39歳							
		人数	割合						
肥満	1.基準範囲内	67	10.31%						
	2.保健指導基準値以上	59	9.08%						
	3.受診勧奨基準値以上	77	11.85%						
	4.服薬投与	19	2.92%						
非肥満	1.基準範囲内	297	45.69%						
	2.保健指導基準値以上	75	11.54%						
	3.受診勧奨基準値以上	50	7.69%						
	4.服薬投与	6	0.92%						

		強制計							
		合計		40~44歳		45~49歳		50~54歳	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
肥満	1.基準範囲内	230	5.71%	61	7.97%	52	6.67%	48	6.44%
	2.保健指導基準	365	9.06%	83	10.85%	79	10.13%	71	9.53%
	3.受診勧奨基準	464	11.52%	114	14.90%	99	12.69%	89	11.95%
	4.服薬投与	635	15.76%	40	5.23%	85	10.90%	107	14.36%
非肥満	1.基準範囲内	1,034	25.66%	288	37.65%	264	33.85%	202	27.11%
	2.保健指導基準	520	12.91%	104	13.59%	102	13.08%	98	13.15%
	3.受診勧奨基準	368	9.13%	60	7.84%	67	8.59%	68	9.13%
	4.服薬投与	413	10.25%	15	1.96%	32	4.10%	62	8.32%
		55~59歳		60~64歳		65~69歳		70~74歳	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
肥満	1.基準範囲内	36	3.80%	27	4.23%	5	3.60%	1	7.14%
	2.保健指導基準	86	9.08%	41	6.42%	5	3.60%	0	0.00%
	3.受診勧奨基準	91	9.61%	59	9.23%	11	7.91%	1	7.14%
	4.服薬投与	211	22.28%	149	23.32%	40	28.78%	3	21.43%
非肥満	1.基準範囲内	167	17.63%	96	15.02%	15	10.79%	2	14.29%
	2.保健指導基準	128	13.52%	73	11.42%	13	9.35%	2	14.29%
	3.受診勧奨基準	94	9.93%	59	9.23%	16	11.51%	4	28.57%
	4.服薬投与	134	14.15%	135	21.13%	34	24.46%	1	7.14%



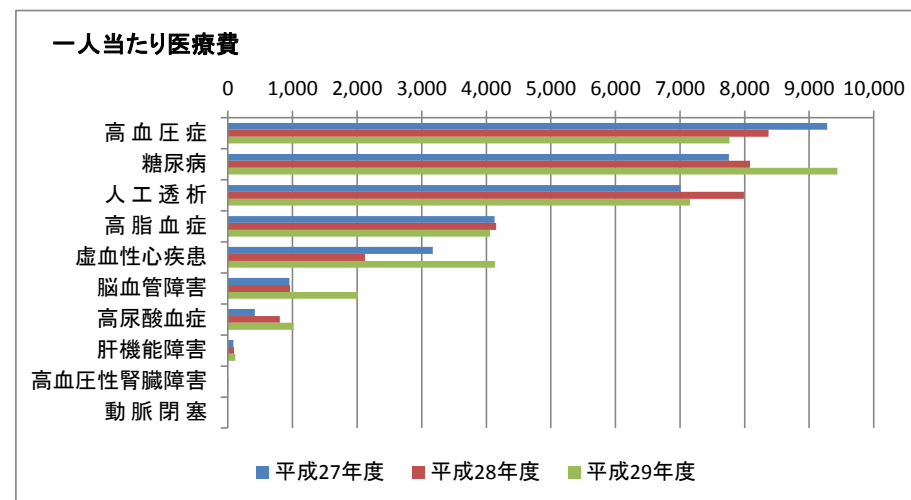
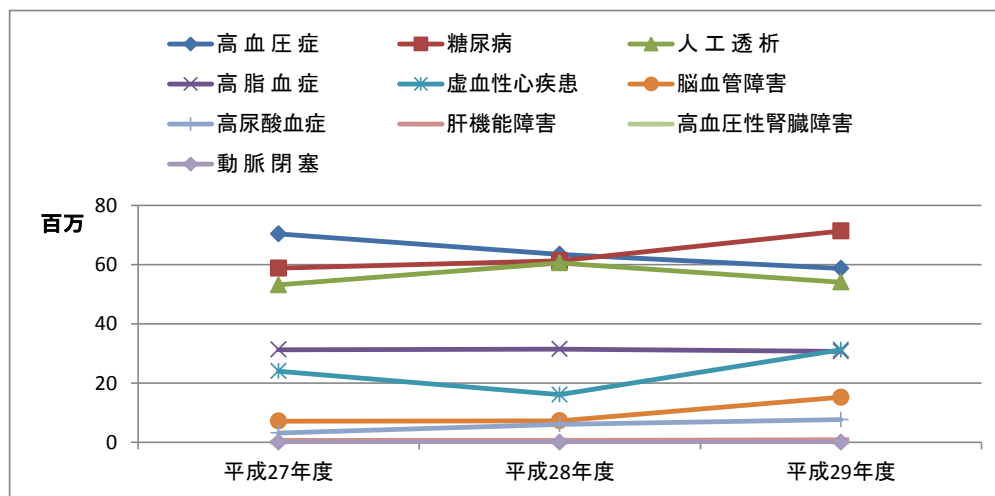
喫煙状況

年齢区分	男 性								女 性							
	平成28年度				平成29年度				平成28年度				平成29年度			
	1. はい		2. いいえ		1. はい		2. いいえ		1. はい		2. いいえ		1. はい		2. いいえ	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
40～44歳	242	50.52%	237	49.48%	253	52.71%	227	47.29%	63	17.07%	306	82.93%	52	16.05%	272	83.95%
45～49歳	216	46.06%	253	53.94%	211	46.78%	240	53.22%	68	15.89%	360	84.11%	73	16.86%	360	83.14%
50～54歳	216	48.43%	230	51.57%	182	43.75%	234	56.25%	52	12.56%	362	87.44%	54	13.67%	341	86.33%
55～59歳	280	41.67%	392	58.33%	286	45.04%	349	54.96%	35	8.71%	367	91.29%	37	8.73%	387	91.27%
60～64歳	150	34.01%	291	65.99%	145	30.72%	327	69.28%	12	5.04%	226	94.96%	14	5.67%	233	94.33%
65～69歳	32	34.41%	61	65.59%	33	31.43%	72	68.57%	3	5.36%	53	94.64%	5	7.46%	62	92.54%
70～74歳	1	9.09%	10	90.91%	3	12.50%	21	87.50%	0	0.00%	15	100.00%	0	0.00%	14	100.00%
75歳以上	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%



生活習慣病 医療費

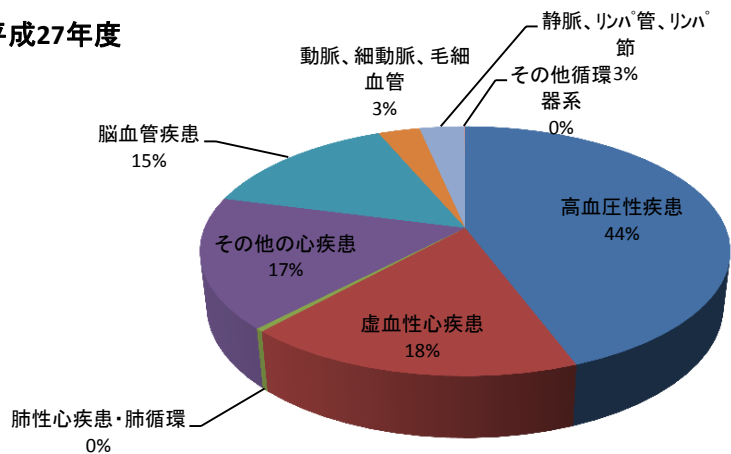
生活習慣病	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	医療費総額	1人当たり医療費	医療費総額	1人当たり医療費	医療費総額	1人当たり医療費
高血圧症	70,340,250	9,278	63,459,820	8,370	58,696,450	7,767
糖尿病	58,796,420	7,756	61,310,290	8,086	71,305,080	9,436
人工透析	53,135,840	7,009	60,569,610	7,989	54,103,960	7,159
高脂血症	31,290,420	4,127	31,481,420	4,152	30,669,260	4,058
虚血性心疾患	24,063,720	3,174	16,100,180	2,123	31,238,280	4,134
脳血管障害	7,213,750	952	7,293,590	962	15,217,390	2,014
高尿酸血症	3,148,540	415	6,084,900	803	7,677,650	1,016
肝機能障害	649,840	86	694,020	92	864,020	114
高血圧性腎臓障害	860	0	6,530	1	15,370	2
動脈閉塞	20	0	780	0	800	0



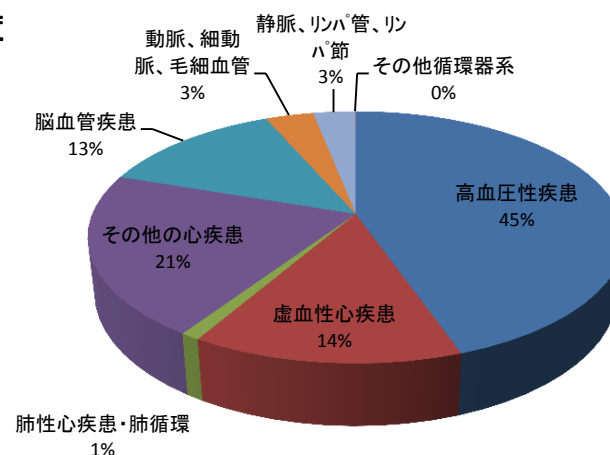
循環器系疾患 医療費(被保険者)

循環器系疾患	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	医療費総額	1人当たり医療費	医療費総額	1人当たり医療費	医療費総額	1人当たり医療費
高血圧性疾患	72,123,260	9,514	65,733,540	8,670	61,145,560	8,091
虚血性心疾患	28,444,310	3,752	20,241,920	2,670	34,837,950	4,610
肺性心疾患・肺循環	656,980	87	1,450,570	191	1,654,230	219
その他の心疾患	27,585,660	3,639	30,648,140	4,042	25,596,700	3,387
脳血管疾患	23,720,520	3,129	19,514,050	2,574	24,024,070	3,179
動脈、細動脈、毛細血管	4,935,060	651	5,118,160	675	3,217,130	426
静脈、リンパ管、リンパ節	5,335,570	704	4,423,090	583	3,338,650	442
その他循環器系	107,360	14	96,080	13	85,060	11

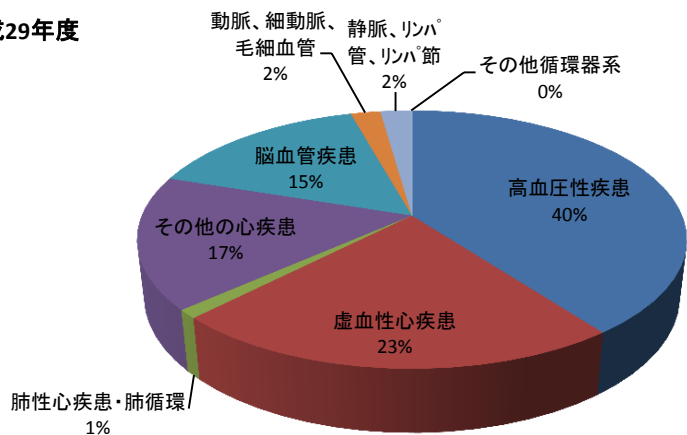
平成27年度



平成28年度



平成29年度



生活習慣病・健診レベル判定分布の経年変化

男 性				
2017年度	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	367	13.86%	139	5.25%
2.保健指導基準値以上	362	13.67%	318	12.01%
3.受診勧奨基準値以上	274	10.35%	395	14.92%
4.服薬投与	271	10.23%	522	19.71%

2016年度	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	430	16.13%	151	5.66%
2.保健指導基準値以上	349	13.09%	293	10.99%
3.受診勧奨基準値以上	265	9.94%	390	14.63%
4.服薬投与	267	10.02%	521	19.54%

改善率
12.74%

改悪率
10.38%

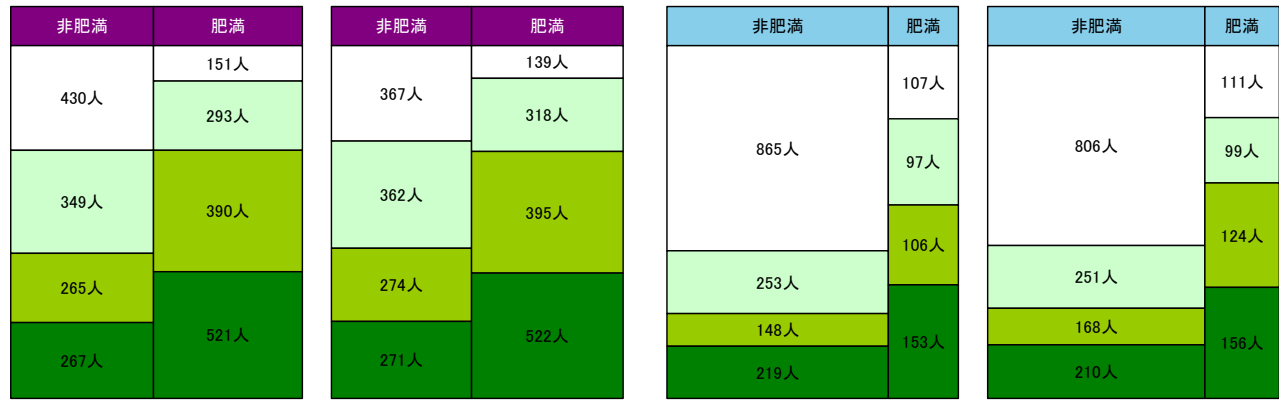
女 性				
2017年度	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	806	41.87%	111	5.77%
2.保健指導基準値以上	251	13.04%	99	5.14%
3.受診勧奨基準値以上	168	8.73%	124	6.44%
4.服薬投与	210	10.91%	156	8.10%

2016年度	A. 非肥満		B. 肥満	
	人数	割合	人数	割合
1.基準範囲内	865	44.40%	107	5.49%
2.保健指導基準値以上	253	12.99%	97	4.98%
3.受診勧奨基準値以上	148	7.60%	106	5.44%
4.服薬投与	219	11.24%	153	7.85%

改善率
15.76%

改悪率
4.30%

生活習慣病・健診レベル判定分布(対前年変化)



2016年度 / 男 性

2017年度 / 男 性

2016年度 / 女 性

2017年度 / 女 性

**※ 改善率の計算の定義**  

$$\frac{B2、B3だった者のうち、A1\sim A3またはB1へ移動した者の人数}{B2、B3だった者の人数}$$

**※ 改悪率の計算の定義**  

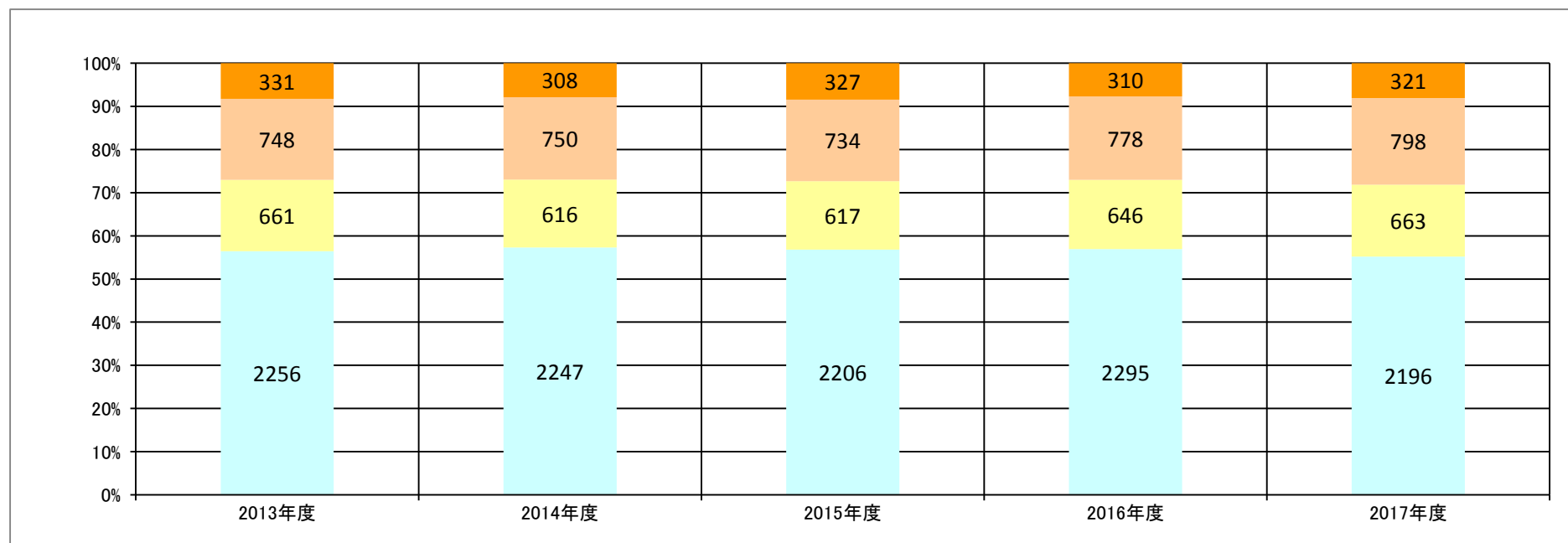
$$\frac{A1\sim A3またはB1だった者のうち、B2、B3へ移動した者の人数}{A1\sim A3またはB1だった者の人数}$$

非肥満	肥満
A1基準範囲内	B1基準範囲内
A2保健指導基準値以上	B2保健指導基準値以上
A3受診勧奨基準値以上	B3受診勧奨基準値以上
A4服薬投与	B4服薬投与



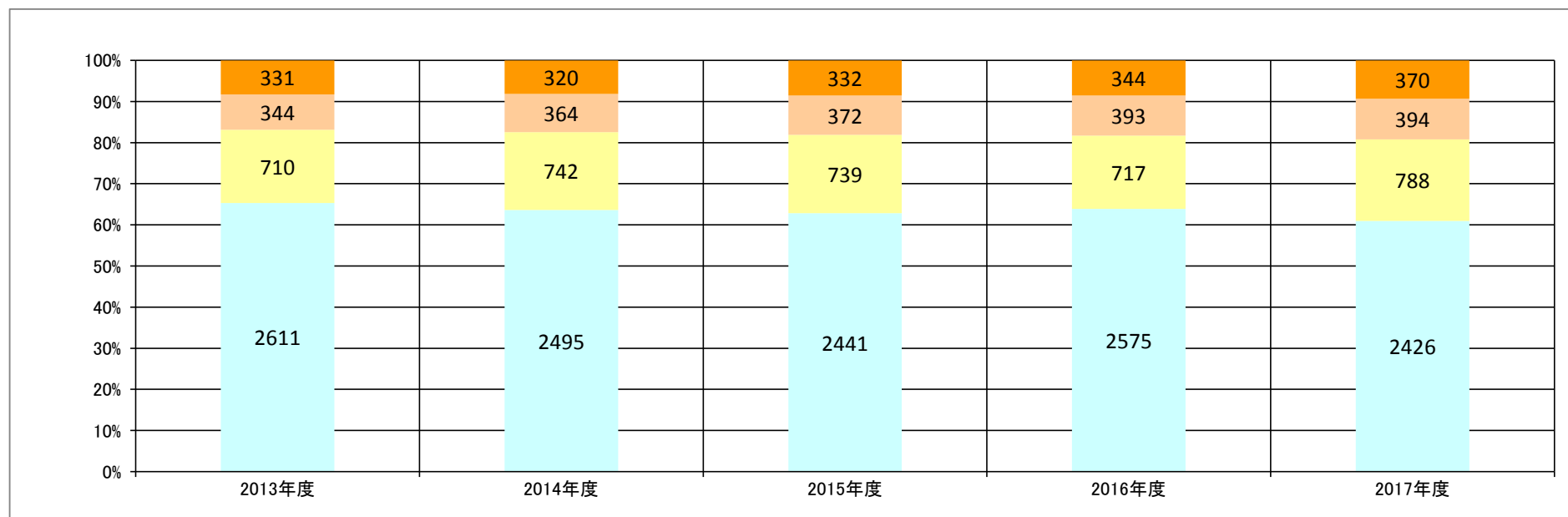
## 血圧検査値の経年変化

血圧	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
収縮期 $\geq 160$ or 拡張期 $\geq 100$	331	8.28%	308	7.86%	327	8.42%	310	7.69%	321	8.07%
収縮期 $\geq 140$ or 拡張期 $\geq 90$	748	18.72%	750	19.13%	734	18.90%	778	19.31%	798	20.06%
収縮期 $\geq 130$ or 拡張期 $\geq 85$	661	16.54%	616	15.71%	617	15.89%	646	16.03%	663	16.67%
収縮期 $< 130$ and 拡張期 $< 85$	2,256	56.46%	2,247	57.31%	2,206	56.80%	2,295	56.96%	2,196	55.20%



## 糖代謝検査値の経年変化

血糖	2013年度		2014年度		2015年度		2016年度		2017年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
空腹時血糖 $\geq 126$ 空腹時血糖値が無いとき HbA1c $\geq 6.5\%$	331	8.28%	320	8.16%	332	8.55%	344	8.54%	370	9.30%
空腹時血糖 $\geq 110$ 空腹時血糖値が無いとき HbA1c $\geq 6.0\%$	344	8.61%	364	9.28%	372	9.58%	393	9.75%	394	9.90%
空腹時血糖 $\geq 100$ 空腹時血糖値が無いとき HbA1c $\geq 5.6\%$	710	17.77%	742	18.92%	739	19.03%	717	17.80%	788	19.81%
空腹時血糖 $< 100$ 空腹時血糖値が無いとき HbA1c $< 5.6\%$	2,611	65.34%	2,495	63.63%	2,441	62.85%	2,575	63.91%	2,426	60.99%



## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア, イ	メタボ該当者の減少率が低い。	➔	30歳から肥満が増える傾向にあるため、特定保健指導対象前の若年層に対する意識づけを行う。⇒対象者となる者を増やさないための保健事業の実施	✓
2	エ, オ	・一人あたりの医療費をみると「糖尿病」などの内分泌・栄養・代謝疾患が高く、「高血圧」など循環器疾患が続いている。 ・「脳血管障害」や「虚血性心疾患」「人工透析」にかかる一人あたりの医療費が高い。	➔	「循環器系疾患」や「内分泌・栄養・代謝疾患」は予防対策が可能であることから、特定健診データからリスク者が特定できるため、最も介入効果が期待される疾病であることから特定保健指導実施率の向上に対策を講じていく。	✓
3	カ, キ, ク	「受診勧奨基準値以上の者」の割合が高くそれが放置された結果として重症疾病の医療費が高い可能性が考えられる。	➔	主に「血圧」と「糖代謝」の高リスク者に対し、健康管理医の指示のもと受診勧奨通知を送付。	✓
4	ウ	喫煙率が高い	➔	喫煙率が高いことで、積極的支援の該当割合が高くなることが考えられるため、特定保健指導で禁煙指導を徹底していく。	✓
5	カ, キ, ク	生活習慣病リスク保有者の割合が高い	➔	受診勧奨通知送付の対象者になる前の段階で、生活習慣の改善等の指導を行い、早期のうちに改善できるよう支援を行う。	✓

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	・総合健保である。	➔	・事業の参加率や意識づけには、事業主との連携が不可欠である。
2	・被保険者の年齢は40歳以上の割合が高い。	➔	・特定保健指導対象年齢の割合が高いため、特定保健指導の実施率を上げるためには対象となる者を増やさない対策が必要である。

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	特定保健指導の実施率が低い。	➔	・医療機関と特定保健指導実施契約を結び被扶養者に対する特定保健指導も開始。 ・専門職（保健師）の採用により特定保健指導実施に対する体制を強化。
2	糖尿病・人工透析の医療費が増加傾向である。	➔	・非肥満者や40歳未満に対する保健指導を強化
3	被扶養者の特定健診の受診率が低い。	➔	・パート先やかかりつけ医などの健診結果の提供

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

- ・特定健診、特定保健指導の実施率の向上対策
- ・生活習慣病の早期発見と重症化予防対策
- ・リスク保有者に対する医療機関への受診勧奨
- ・情報発信・健康意識の醸成事業

### 事業全体の目標

- ・特定健診実施率85%以上
- ・特定保健指導実施率30%以上
- ・メタボリックシンドローム該当者の減少率25%以上
- ・生活習慣病が起因する重症化による医療費の抑制

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

保健指導宣伝	諸会議・研修会の開催
疾病予防	重症化予防対策

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	共同保健宣伝
--------	--------

#### 個別の事業

特定健康診査事業	特定健診（被保険者）
特定健康診査事業	特定健診（被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	機関紙の発行
保健指導宣伝	歯と口の健康週間
保健指導宣伝	健康優良者（家族）表彰
保健指導宣伝	健康チャレンジ
保健指導宣伝	医療費通知の配付
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品の利用促進
疾病予防	生活習慣病予防健診
疾病予防	短期人間ドック
疾病予防	栄養（食事）・健康相談
疾病予防	インフルエンザ予防接種補助
体育奨励	軟式野球大会
体育奨励	フットサル大会
体育奨励	健康ウォーキング
体育奨励	ウォーキングキャンペーン

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							
職場環境の整備																			
保健指導宣伝	1	既存	諸会議・研修会の開催	全て	男女	18～74	その他	1	ケ,シ	-	ア	-	660	-	-	-	-	・健康管理事業の促進と円滑な事務処理の推進 ・事業所との連携による保健指導実施率の向上	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
													健康管理研修会の開催 各事業所の健康管理責任者・担当者を対象に次年度の保健事業について説明を行う。 健康管理事業推進委員会の開催 年2回開催し事業推進委員による保健事業について検討・事業評価を行う。	継続	継続	継続	継続		
開催数(【実績値】3回 【目標値】平成30年度：3回 平成31年度：3回 平成32年度：3回 平成33年度：3回 平成34年度：3回 平成35年度：3回)-												保健指導出席率(【実績値】65.1% 【目標値】平成30年度：70% 平成31年度：72% 平成32年度：75% 平成33年度：75% 平成34年度：75% 平成35年度：75%)特定健診含む保健指導出席率 特定保健指導初回面接出席者数112名 出席率61.5% 健康相談出席者数248名 出席率66.8%							
疾病予防	4	既存	重症化予防対策	全て	男女	18～74	被保険者	3	イ,ク	-	ア,ウ	-	550	-	-	-	-	生活習慣病リスク保有者で医療機関未受診者に対して早期の専門医への受診を促す。 高リスク者（就業制限を必要とするレベル）の重症化予防。 29年度は、「健康づくり支援対策」として実施をしていたが、30年度より重症化予防対策（受診勧奨）を強化するため、疾病予防に振り替えて実施する。	・一人あたりの医療費をみると「糖尿病」などの内分泌・栄養・代謝疾患が高く、「高血圧」など循環器疾患が続いている。 ・「脳血管障害」や「虚血性心疾患」「人工透析」にかかる一人あたりの医療費が高い。  「受診勧奨基準値以上の者」の割合が高くそれが放置された結果として重症疾病の医療費が高い可能性が考えられる。  生活習慣病リスク保有者の割合が高い
													健康管理の指導による受診勧奨数値以上の被保険者に対し事業主と共同で受診勧奨を行い、早期治療を促し重症化予防を図る。	継続	継続	継続	継続		
受診率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：50% 平成31年度：55% 平成32年度：60% 平成33年度：65% 平成34年度：70% 平成35年度：75%)高リスク者へ受診勧奨通知を送付し、医療機関への受診状況を確認する。												高額の新規請求件数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：0件 平成31年度：0件 平成32年度：0件 平成33年度：0件 平成34年度：0件 平成35年度：0件)生活習慣病が起因する高額な医療費の新規請求件数を0件にする							
加入者への意識づけ																			
保健指導宣伝	5	既存	共同保健宣伝	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	1	ケ,シ	-	ア	-	1,047	-	-	-	-	・健保連と共同の広報活動 ・健康強調月間、情報誌配布など ・喫煙習慣改善（受動喫煙）啓蒙活動	喫煙率が高い
													共同ポスターの配布 500部 情報誌購入配布	継続	継続	継続	継続		
配布回数(【実績値】15回 【目標値】平成30年度：15回 平成31年度：15回 平成32年度：15回 平成33年度：15回 平成34年度：15回 平成35年度：15回)-												認知度(【実績値】80% 【目標値】平成30年度：80% 平成31年度：80% 平成32年度：80% 平成33年度：80% 平成34年度：80% 平成35年度：80%)-							
個別の事業																			
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健診(被保険者)	全て	男女	40～74	被保険者	1	ク,ケ,コ	-	ア,キ,サ	-	11,763	-	-	-	-	・事業所が行う定期健診と合わせ共同実施	メタボ該当者の減少率が低い。  ・一人あたりの医療費をみると「糖尿病」などの内分泌・栄養・代謝疾患が高く、「高血圧」など循環器疾患が続いている。 ・「脳血管障害」や「虚血性心疾患」「人工透析」にかかる一人あたりの医療費が高い。  喫煙率が高い  生活習慣病リスク保有者の割合が高い
													・事業所が行う定期健診と合わせ共同実施	継続	継続	継続	継続		
特定健康診査結果の回収(【実績値】89.2% 【目標値】平成30年度：70% 平成31年度：75% 平成32年度：80% 平成33年度：85% 平成34年度：90% 平成35年度：95%)人間ドック利用者に対する特定健康診査結果の提出を徹底する												特定健康診査受診率(【実績値】88.4% 【目標値】平成30年度：95% 平成31年度：95% 平成32年度：95% 平成33年度：95% 平成34年度：95% 平成35年度：95%)事業所との連携による実施							
3	既存	特定健診(被扶養者)	全て	男女	40～74	被扶養者	1	ク,ケ	-	ア,キ,サ	-	生活習慣病予防健診を兼ねて実施。 生活習慣病予防健診会場以外での利用を希望する者に対しては受診券を発行し対応。 パート先等で行った健診結果提供の呼びかけ。	-	-	-	-	特定健康診査の受診率向上と健康の保持増進を図る。 生活習慣病予防	メタボ該当者の減少率が低い。  ・一人あたりの医療費をみると「糖尿病」などの内分泌・栄養・代謝疾患が高く、「高血圧」など循環器疾患が続いている。 ・「脳血管障害」や「虚血性心疾患」「人工透析」にかかる一人あたりの医療費が高い。  生活習慣病リスク保有者の割合が高い	
												生活習慣病予防健診を兼ねて実施。 生活習慣病予防健診会場以外での利用を希望する者に対しては受診券を発行し対応。 パート先等で行った健診結果提供の呼びかけ。	継続	継続	継続	継続			継続

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連														
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画																				
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度			平成35年度													
アウトプット指標												アウトカム指標																					
受診状況の確認【実績値】44.2% 【目標値】平成30年度：70% 平成31年度：75% 平成32年度：80% 平成33年度：85% 平成34年度：90% 平成35年度：95%受診券利用による特定健診受診やパート先での健診結果の提供を徹底する												特定健診の受診率【実績値】45% 【目標値】平成30年度：50% 平成31年度：50% 平成32年度：50% 平成33年度：50% 平成34年度：50% 平成35年度：50%-																					
特定保健指導事業	4	既存	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ク,ケ,コ	-	ア,ウ,コ,サ,シ	-	5,249	-	-	-	-	-	・特定保健指導の実施率向上 ・生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善を図る ・重症化予防対策	メタボ該当者の減少率が低い。  ・一人あたりの医療費をみると「糖尿病」などの内分泌・栄養・代謝疾患が高く、「高血圧」など循環器疾患が続いている。 ・「脳血管障害」や「虚血性心疾患」「人工透析」にかかる一人あたりの医療費が高い。  喫煙率が高い  生活習慣病リスク保有者の割合が高い													
													特定保健指導の実施率【実績値】9% 【目標値】平成30年度：30% 平成31年度：30% 平成32年度：30% 平成33年度：30% 平成34年度：30% 平成35年度：30%-												修了者の改善率【実績値】22.3% 【目標値】平成30年度：23% 平成31年度：23.5% 平成32年度：24% 平成33年度：24.5% 平成34年度：25% 平成35年度：25%-								
													-												メタボ該当者の減少率【実績値】24.7% 【目標値】平成30年度：25% 平成31年度：25% 平成32年度：25% 平成33年度：25% 平成34年度：25% 平成35年度：25%-								
保健指導宣伝	5	既存	機関紙の発行	全て	男女	18～74	加入者全員	1	ス	-	ア	-	発行回数 年5回 発行部数 7,650部/回 健保運営・制度改正・疾病予防・健康情報等掲載	-	-	-	-	-	メタボ該当者の減少率が低い。  喫煙率が高い  生活習慣病リスク保有者の割合が高い														
													5【実績値】5回 【目標値】平成30年度：5回 平成31年度：5回 平成32年度：5回 平成33年度：5回 平成34年度：5回 平成35年度：5回)制度改革内容の要約、保険事業の周知徹底イベント参加率の向上促進												特定健診受診率【実績値】78.5% 【目標値】平成30年度：85% 平成31年度：85% 平成32年度：85% 平成33年度：85% 平成34年度：85% 平成35年度：85%)毎年健診を受けることの必要性について周知徹底を図ることで受診率の向上を図る。								
													-												特定保健指導実施率【実績値】9.0% 【目標値】平成30年度：30% 平成31年度：30% 平成32年度：30% 平成33年度：30% 平成34年度：30% 平成35年度：30%)特定保健指導について周知徹底を図る。								
2,5	新規	歯と口の健康週間	全て	男女	18～74	被保険者	1	シ	-	ア	-	-	毎食後の歯磨き習慣の定着を図るため携帯用歯ブラシセットを配布する。	-	-	-	-	-	歯科疾患の予防や歯と口の健康を保持する取り組みを進める必要があることから、在宅以外での歯磨き習慣の定着を図る。 歯周病と生活習慣病発症の関連性について周知を図る。	生活習慣病リスク保有者の割合が高い													
													事業所に情報を配信している割合【実績値】- 【目標値】平成30年度：100% 平成31年度：100% 平成32年度：100% 平成33年度：100% 平成34年度：100% 平成35年度：100%-												歯磨き習慣の定着率【実績値】- 【目標値】平成30年度：50% 平成31年度：55% 平成32年度：60% 平成33年度：65% 平成34年度：70% 平成35年度：75%-								
													-												-								
2,8	既存	健康優良者(家族)表彰	全て	男女	0～74	被保険者,被扶養者	1	ス	-	ス	-	-	1年間健康保険証を使わなかった被保険者および健康家族に対し記念品を贈呈し表彰する。	-	-	-	-	-	健康に対する意識の向上と医療費の抑制	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)													
													健康管理に関する情報提供【実績値】6回 【目標値】平成30年度：7回 平成31年度：8回 平成32年度：9回 平成33年度：10回 平成34年度：10回 平成35年度：10回)健康管理等に関する情報提供(ポスター配布や健保だよりによる情報提供)												健康優良者の表彰については健康意識の向上が目的であり効果としては表しにくいためアウトカムについては設定しない(アウトカムは設定されていません)								
													-												-								
2,5	既存	健康チャレンジ	全て	男女	18～74	被保険者	1	ケ,ス	-	ア	-	-	実施しない	-	-	-	-	-	【目的】生活習慣の改善指導 【概要】6か月間、減量や禁煙に取り組みを記録し、目標達成者に健康強調月間に達成賞を贈呈する。	メタボ該当者の減少率が低い。													
													参加人数【実績値】61人 【目標値】平成30年度：0人 平成31年度：0人 平成32年度：0人 平成33年度：0人 平成34年度：0人 平成35年度：0人)-												報告者数【実績値】22人 【目標値】平成30年度：0人 平成31年度：0人 平成32年度：0人 平成33年度：0人 平成34年度：0人 平成35年度：0人)-								
													-												-								
5	既存	医療費通知の配付	全て	男女	18～74	被保険者	1	ス	-	ア,サ	-	-	年1回 1月から12月診療分を3月に通知	-	-	-	-	-	医療費の適正化	・一人あたりの医療費をみると「糖尿病」などの内分泌・栄養・代謝疾患が高く、「高血圧」など循環器疾患が続いている。 ・「脳血管障害」や「虚血性心疾患」「人工透析」にかかる一人あたりの医療費が高い。													
													医療費通知の発行【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 平成31年度：1回 平成32年度：1回 平成33年度：1回 平成34年度：1回 平成35年度：1回)医療機関への受信状況の確認と医療費コスト意識の向上												費用対効果が明確でないため、成果を評価することが難しい。(アウトカムは設定されていません)								
													-												-								
-												200																					

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連													
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画																		
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度			平成34年度	平成35年度											
アウトプット指標												アウトカム指標																			
7	既存	ジェネリック医薬品の利用促進	全て	男女	18～74	基準該当者	1	ク	-	ア,サ	-	・一定額以上の自己負担軽減が見込める該当者に対し差額通知を送付 ・資格取得時に希望シールを同封しジェネリック医薬品の推奨と情報提供を実施	継続	継続	継続	継続	継続	ジェネリック医薬品の普及 医療費の抑制	・一人あたりの医療費をみると「糖尿病」などの内分泌・栄養・代謝疾患が高く、「高血圧」など循環器疾患が続いている。 ・「脳血管障害」や「虚血性心疾患」「人工透析」にかかる一人あたりの医療費が高い。												
通知回数【実績値】4回 【目標値】平成30年度：6回 平成31年度：6回 平成32年度：6回 平成33年度：6回 平成34年度：6回 平成35年度：6回)3カ月ごと年4回通知 広報誌での推奨と個人への通知で周知を図る												ジェネリック医薬品の利用率(【実績値】66.99% 【目標値】平成30年度：72% 平成31年度：72% 平成32年度：72% 平成33年度：72% 平成34年度：72% 平成35年度：72%)																			
疾病予防	3	既存	生活習慣病予防健診	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者,任意継続者	3	ケ,コ,シ	-	ア,キ,コ	-	49,270	-	-	-	-	生活習慣病の早期発見 重症化予防対策	「受診勧奨基準値以上の者」の割合が高くそれが放置された結果として重症疾病の医療費が高い可能性が考えられる。  生活習慣病リスク保有者の割合が高い												
													健診受診率【実績値】87.4% 【目標値】平成30年度：90% 平成31年度：90% 平成32年度：90% 平成33年度：90% 平成34年度：90% 平成35年度：90%) 健診機関に委託し、利便性の良い巡回型健診を行っている。 勤務時間内での受診を可能にしている。												特定健診受診率(【実績値】78.7% 【目標値】平成30年度：85% 平成31年度：85% 平成32年度：85% 平成33年度：85% 平成34年度：85% 平成35年度：85%)						
													保健指導出席率【実績値】65.1% 【目標値】平成30年度：70% 平成31年度：72% 平成32年度：75% 平成33年度：75% 平成34年度：75% 平成35年度：75%)												要医療判定者の減少(【実績値】29.9% 【目標値】平成30年度：29.5% 平成31年度：29% 平成32年度：28.5% 平成33年度：28% 平成34年度：27.5% 平成35年度：27%)						
													-												特定保健指導実施率(【実績値】9% 【目標値】平成30年度：30% 平成31年度：30% 平成32年度：30% 平成33年度：30% 平成34年度：30% 平成35年度：30%)						
3	既存	短期人間ドック	全て	男女	40～74	基準該当者	1	ス	-	ア,キ	-	38,150	-	-	-	-	被保険者および配偶者の健康管理、疾病予防・疾病の早期発見を目的とし健康の保持増進を図る 指定医療機関との契約によりドック利用当日の特定保健指導を実施することにより特定保健指導実施率の向上を図る	・一人あたりの医療費をみると「糖尿病」などの内分泌・栄養・代謝疾患が高く、「高血圧」など循環器疾患が続いている。 ・「脳血管障害」や「虚血性心疾患」「人工透析」にかかる一人あたりの医療費が高い。  「受診勧奨基準値以上の者」の割合が高くそれが放置された結果として重症疾病の医療費が高い可能性が考えられる。													
												主催事業：指定8医療機関と契約。希望者の誕生日を原則として健保が決定した日時に利用券を提示し受診する。 補助事業：指定医療機関以外での利用については、補助方式とする。												特定保健指導実施率(【実績値】9.0% 【目標値】平成30年度：30% 平成31年度：30% 平成32年度：30% 平成33年度：30% 平成34年度：30% 平成35年度：30%)指定医療機関との契約により特定保健指導実施率の向上を図る							
利用人数【実績値】2,403人 【目標値】平成30年度：2,475人 平成31年度：2,450人 平成32年度：2,450人 平成33年度：2,450人 平成34年度：2,450人 平成35年度：2,450人)												-																			
1,4,5,6	既存	栄養(食事)・健康相談	全て	男女	18～74	被保険者	1	イ,オ,シ	-	ア,ウ,コ,シ	-	124	-	-	-	-	生活習慣病に移行させないための生活習慣改善の必要性について理解を促し、生活習慣における課題や改善するための行動目標を設定するとともに健康に関する自己管理ができるよう支援する。 40歳未満の特定保健指導該当者予備群に対する意識づけとして保健指導を実施する。	・一人あたりの医療費をみると「糖尿病」などの内分泌・栄養・代謝疾患が高く、「高血圧」など循環器疾患が続いている。 ・「脳血管障害」や「虚血性心疾患」「人工透析」にかかる一人あたりの医療費が高い。  「受診勧奨基準値以上の者」の割合が高くそれが放置された結果として重症疾病の医療費が高い可能性が考えられる。  喫煙率が高い  生活習慣病リスク保有者の割合が高い													
												各種健診の結果により生活習慣の改善もしくは受診が必要な被保険者に対し保健師が保健指導を行う。 また40歳未満の被保険者に対し特定保健指導の該当にならないよう動機づけを行う。												メタボ該当者の減少(【実績値】24.7% 【目標値】平成30年度：25% 平成31年度：25% 平成32年度：25% 平成33年度：25% 平成34年度：25% 平成35年度：25%)							
保健指導出席率【実績値】65.1% 【目標値】平成30年度：70% 平成31年度：72% 平成32年度：75% 平成33年度：75% 平成34年度：75% 平成35年度：75%)各種健診結果により、保健師が事業所を巡回し保健指導を実施。 事業との連携により勤務時間内での実施ができるよう配慮している。												-																			
3	既存	インフルエンザ予防接種補助	全て	男女	18～74	被保険者	1	ケ	-	ア	-	3,200	-	-	-	-	インフルエンザの重症化予防および拡大防止	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)													
												10月1日から1月31日までの4か月間に被保険者個人がインフルエンザ予防接種を自己負担で接種した場合に2,000円を補助する。 補助については、補助申請書に領収書を添付し事業主を通して申請する。												医療件数の減少(【実績値】1,656件 【目標値】平成30年度：1,500件 平成31年度：1,400件 平成32年度：1,300件 平成33年度：1,200件 平成34年度：1,100件 平成35年度：1,000件)							
接種人数【実績値】1,367人 【目標値】平成30年度：1,600人 平成31年度：1,600人 平成32年度：1,600人 平成33年度：1,600人 平成34年度：1,600人 平成35年度：1,600人)												-																			

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度			平成34年度	平成35年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
体育奨励	8	既存	軟式野球大会	全て	男女	18～60	被保険者	1	ケ	-	ア,コ	-	1,000	-	-	-	-	健康管理と事業所間の交流	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）					
													各事業所のチーム対抗戦で8月・9月にかけて開催する。1チームにつき5,000円の参加費を徴収する。							継続	継続	継続	継続	継続
													大会の継続(【実績値】417人 【目標値】平成30年度：460人 平成31年度：460人 平成32年度：460人 平成33年度：460人 平成34年度：460人 平成35年度：460人)運動習慣の定着と大会の継続											
5	既存	フットサル大会	全て	男女	18～74	被保険者	1	ケ	-	ア	-	700	-	-	-	-	フットサル競技を通じ健康の増進と事業所間の親睦を図る	該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）						
												各事業所のチーム対抗戦で12月に開催する。1チームにつき5,000円の参加費を徴収する。							継続	継続	継続	継続	継続	
												大会の継続(【実績値】290人 【目標値】平成30年度：300人 平成31年度：300人 平成32年度：300人 平成33年度：300人 平成34年度：300人 平成35年度：300人)運動習慣の定着と大会の継続												フットサル大会は事業所間の交流を目的としており効果を表しにくいため(アウトカムは設定されていません)
5	既存	健康ウォーキング	全て	男女	4～74	被保険者,被扶養者	1	ケ	-	ア,サ	-	1,900	-	-	-	-	運動習慣の定着と継続	メタボ該当者の減少率が低い。生活習慣病リスク保有者の割合が高い						
												ウォーキングコースを選定し年間2会場で開催。「榛名湖ウォーキング」9月上旬開催予定「群馬の森ウォーキング」3月中旬開催予定							継続	継続	継続	継続	継続	
												参加者数(【実績値】622人 【目標値】平成30年度：1,100人 平成31年度：1,100人 平成32年度：1,100人 平成33年度：1,100人 平成34年度：1,100人 平成35年度：1,100人)-												運動習慣の継続(【実績値】16.9% 【目標値】平成30年度：17% 平成31年度：17.5% 平成32年度：18% 平成33年度：18.5% 平成34年度：19% 平成35年度：19.5%)特定健診問診で週2日以上運動習慣を1年以上続けていると答えた者の割合
5	既存	ウォーキングキャンペーン	全て	男女	18～74	被保険者,被扶養者	1	ケ	-	ア,サ	-	1,800	-	-	-	-	健康維持のための運動習慣の定着と継続	メタボ該当者の減少率が低い。生活習慣病リスク保有者の割合が高い						
												年2回それぞれ3カ月間、毎日の歩数を記録用紙に記入し目標の一日平均8,000歩を達成した方に対し達成記念品を贈呈する。							継続	継続	継続	継続	継続	
												参加者数(【実績値】906人 【目標値】平成30年度：1,200人 平成31年度：1,200人 平成32年度：1,200人 平成33年度：1,200人 平成34年度：1,200人 平成35年度：1,200人)年2回実施のため人数は述べ人数とする												運動習慣の継続(【実績値】20.7% 【目標値】平成30年度：21.5% 平成31年度：21.5% 平成32年度：21.5% 平成33年度：22% 平成34年度：22% 平成35年度：22%)特定健診問診にて1日1時間以上の運動習慣があると答えた者の割合

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施  
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築  
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他